

備前市事務事業評価シート

(平成25年度事業)

事業の概要					
事業開始年度	平成18年度		根拠法令・例規等	森林法	
総合計画	大項目 基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」	問 担当課(室)	農林水産課
	中項目 基本計画	05	安全に暮らせるまち	職・氏名	耕地治山係長 小川 勝巳
	小項目 施策	18	ため池・治山対策の推進	電 話	0869-64-1830
事務事業名	03	治山林道整備事業		このシート作成に要した時間	2.0 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的		
対象(誰・何に対して)	林道利用者、森林所有者	
目的(何のために)	林道を整備することにより、地域住民の生活道として利便性及び安全性を高め、また、林道の保全及び災害の防止のために、維持管理を行う。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	林道利用者及び地域住民が安全に通行出来るように、林道の改良・舗装等の整備を進めていく。	

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
目的を達成するための実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	小規模林道整備事業	県の補助対象条件を満たす改良・舗装等の事業を行う。	◎
	関谷の森管理運営事業	森林公園の維持・補修を行う。	▲
	林道維持管理事業	林道の維持管理や交通安全施設の整備拡充など林道交通安全の確保に関する事業を行う。	○
	単独事業	県・国庫補助対象とならない林道工事を行う。また、山地を対象とし、災害の未然防止を目的として施設の整備、修繕を行う。	○
	治山施設維持管理事業	治山施設の維持管理	○
	県森林協会負担金	各種団体への負担金	▲
	備前地区治山林道協会負担金	各種団体への負担金	▲

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	直接事業費	千円	8,325	4,826	16,730
	必要人員(人件費)	千円	0.40人	0.35人	3,651
	事業費計		11,791	7,868	20,381
	国県支出金	千円	3,965	600	3,600
財源	受 益 者 負 担 金				
	繰 入 金				
	市 債				
	その他( )				
	一 般 財 源		7,826	7,268	16,781
	受 益 者 負 担 比 率	%	-	-	-
結果指標名		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
結果指標	結果指標量		1		4
	対前年比	%	50.0%	100.0%	400.0%
	活動コスト	円	2,196,600	2,000,000	12,103,000
	単位当たりコスト		2,196,600	2,000,000	3,025,750

事業の成果		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
林道(開設・改良)整備率	成果指標名	目標値(A)	90	90	310	325
		実績値(B)	120	130	430	到達目標値
		達成率(B/A)	133.33%	144.44%	138.71%	100%
成果指標設定の考え方・式や説明						
林道(開設・改良)整備率(%) = 整備済延長 ÷ 年度計画整備延長 × 100						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性の必要性	<input type="checkbox"/>	市が実施するよう法令で義務づけられている	妥当性評価 A B C D E 高や普通や低い 高い低い
		<input type="checkbox"/>	法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	
効率性の評価	コスト削減	<input type="checkbox"/>	単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある	効率性評価 A B C D E 高や普通や低い 高い低い
		<input type="checkbox"/>	コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	
有効性の評価	目的達成度 市民参画度	<input type="checkbox"/>	成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普通や低い 高い低い
		<input type="checkbox"/>		

事業の目的やその数値目標に留意しながら有効性を評価

進行年度(H26年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	林道の危険箇所について、前年度と同様に法面保護・路肩部分の改良を行っていく。					

総合評価		
林道整備については、費用対効果を十分に検討し事業を進め、また維持管理については、林道の保全及び災害の防止に努めていかなければならない。	総合評価	C

平成27年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	平成27年度についても、林道整備については、費用対効果を十分に検討し事業を進め、また維持管理については、林道の保全及び災害の防止に努めていかなければならない。					